

※ 海外ニュース ※

スペイン 2020年12月14日 スペイン交通局

■ 交通安全推進のための宝くじ

Cupones para mejorar la seguridad vial

「冬用タイヤかチェーンを使おう」「ハンドルを握るときにはアルコール検知は0.0」「バイクに乗るとき、手袋とエアバッグがベター」「われわれが働くのはあなたの安全のため」と、いずれかのメッセージが本日から発売される宝くじに記載されている。

スペイン盲人協会（ONCE）は、今年も交通局（DGT）に協力して、交通安全に対する意識を高めるために、12月14～17日に交通安全を題材にした4種類の絵柄の宝くじを販売する。

ドイツ（オーストリア） 2020年12月15日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ オーストリア：2021年よりトラック通行料が値上がり

Österreich : Höhere Lkw-Maut-Tarife ab 2021 stehen fest

オーストリアは、トラックの通行料（3.5トン超で4軸以上）を、2021年より平均1.4～2.0%値上げする。道路運営会社 ASFINAG の発表によると、料金車種区分の変更はない。

トラック基本通行料は、インフレ率に合わせてキロメートル単位で1.5%値上がりしているが、これには道路交通による大気汚染の対策費用が、EU法で規定される最高額で加算されている。他方、電気自動車と水素自動車では、この費用は今後も徴収されず基本通行料も半額となる。

アメリカ (イギリス) 2020年12月17日 Traffic Technology Today

■ シーメンス、英国ポーツマスの「クリーンエア・ゾーン (CAZ)」計画を設計する契約を獲得

Siemens Mobility awarded Portsmouth, UK, Clean Air Zone design contract

シーメンス・モビリティは、地方議会、中央政府の「共同大気環境ユニット」、他のプログラムパートナーと緊密に協力して、堅牢で信頼性の高いCAZ計画を設計することになる。この計画では、同社の実績のある自動ナンバープレート認識 (ANPR) カメラによる監視・実施技術と専門知識を用いて市内の大気環境を改善する。

イギリス (オーストラリア) 2020年12月18日 ITS International

■ オーストラリア政府、道路安全のためにランブルストリップスを用意

Australia gets ready to rumble for safety

オーストラリアのベン・キャロル道路・交通安全大臣は、重大な衝突事故を減らすため、メルボルン郊外において、ランブルストリップスを約6億円 (700万豪ドル) を費やし、約400kmの高速道路に設置する計画を発表した。騒音の影響を最小限に抑えるため、ランブルストリップスは住宅地から150m以内には設置されない。

フランス 2020年12月21日 LeFigaro

■ ブイグ、クロアチアで高速道路の新フェーズの建設契約を獲得

Bouygues remporte un contrat pour la réalisation d'une nouvelle phase d'autoroute en Croatie

フランス・ブイグ社のグループ会社である Bouygues Travaux Publics (ブイグ公共事業) とクロアチアのパートナー Bina Istra は、イストリア (クロアチア) の高速道路の第5フェーズの建設契約を獲得した。ブイググループは、契約持分は明らかにしていないが、工事請負金額は1億9700万ユーロになる見込みであると語った。

この工事は、首都ザグレブから約200km離れた場所で実施され、陸橋 (延長270m) の建設と2×2車線への拡張 (延長8km) などを行うものである。最盛期には約450名がプロジェクトに参加し、契約期間は42カ月に及ぶ見込みである。

ドイツ 2020年12月21日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ 連邦環境相、新設のCO₂ 価格でシグナル効果を狙う

Schulze setzt beim neuen CO₂-Preis auf Signalwirkung

ドイツでは、石油やガスの利用料金が2021年1月1日より値上がりする。シュルツェ連邦環境相は「炭素の価格付け (カーボンプライシング) は、CO₂ の排出が気候に配慮した他の選択肢と比べて割高になるという明確なシグナルとなる」と語った。

最初の数年は固定制で、CO₂ 排出枠の価格は排出枠が大きくなると徐々に上昇していき、税金のような働き方をする。2021年では1トン当たり25ユーロとなり、石油とディーゼルは1ℓにつき約8セント、ガソリンは7セント、天然ガスは1kWhにつき0.6セント値上がりする。この価格は年々上昇していく。

スペイン 2020年12月21日 CincoDías オンライン版

■ サシル、4億3000万ユーロの高速道路でブラジルのコンセッション市場に参入

Sacyr entra en el mercado concesional brasileño con una autopista de 430 millones

サシルは、ブラジルでの最初のコンセッション事業として、高速道路 RSC-287 号線事業に着手した。すでにブ

ラジルでは、サンパウロ地下鉄工事、フォルタレザ地下鉄工事、南北鉄道の複線化工事を請け負っている。新しいプロジェクトでは、30年間の運営権と引き換えに4億3000万ユーロの投資が必要だ。

ドイツ 2020年12月22日 VerkehrsRundschau オンライン版

■ アウトバーン会社が2021年より始動

Autobahngesellschaft geht 2021 an den Start

国により新設されるアウトバーン会社は、建設の迅速化、渋滞の減少、道路通行者への最適な情報提供を行う、高い目標を掲げている。アウトバーン会社は1月より開始し国内のアウトバーンの運営責任を担う。

アウトバーンの所有者は国だが、運営、保全、建設については、これまで各州が担当していた。しかし、今後はワンストップで入札と規則を統一しながらプロジェクト形成を行っていく。

ドイツ統一長距離道路計画建設会社 (Deges) との統合については、法的問題がある懸念から、話が進んでいない。

アメリカ 2020年12月23日 ITS International

■ 米国運輸省、ADSの原則に関しパブリックコメントを募る

USDOT seeks comment on ADS principles

国家幹線道路交通安全局 (NHTSA) は、先進運転支援システム (ADS) を搭載した車両の大規模な展開は数年先になる可能性が高いと述べている。しかし、ADSの能力を客観的に定義し評価するために必要な枠組みの要素を特定した。パブリックコメントの募集は、イレーン・チャオ運輸長官の在職期間が1月に満了する頃に締め切り、代わって民主党のピート・ブティージェッジ氏が選定する。

スペイン 2020年12月24日 CincoDías オンライン版

■ ACS、ポルトガルで保有する最後の高速道路をフランスのファンドであるヴォーバン・インフラストラクチャー・パートナーズに売却

ACS vende al fondo francés Vauban Infrastructure Partners su última autopista de Portugal

ACSは、フランスのファンドであるヴォーバン・インフラストラクチャー・パートナーズに、子会社のイリジウムを通じてポルトガルで運営していた113.4kmの高速道路を売却した。これにより、当社はポルトガルの高速道路コンセッション市場から完全に撤退することとなる。

スペイン 2020年12月30日 Abertis

■ アベルティス、バージニア州 (米国) のエリザベス川横断道路の買収を完了

Abertis cierra la compra de Elizabeth River Crossing en Virginia (Estados Unidos)

アベルティスとマニュライフ・インベストメント・マネジメント社は、ハンプトン・ローズ (バージニア州) のエリザベス川横断道路 (ERC) の100%の買収を完了した。この買収は、アベルティスが55.2%を占めるコンソーシアムによって行われた。

アベルティスは、6月のRCOの買収と今回の買収により、コンセッション事業ポートフォリオの強化と地理的ポートフォリオの多様化を継続して行っていく能力を示した。

スペイン 2020年12月30日 CincoDías オンライン版

■ 政府、2021年に高速道路の料金を0.11%値下げ

El Gobierno rebaja un 0,11% las tarifas de sus autopistas para 2021

運輸・移動・都市政策省は、2021年1月1日より国営の現在の高速道路料金を、ほとんどの場合で0.11%値下げすると発表した。

アメリカ 2021年1月4日 Traffic Technology Today

■ オハイオ首都圏交通局、ウェイケア社のクラウドベース交通管理ソリューションを採用

Central Ohio adds cloud-based traffic management solution from Waycare

交通システムでは、米国内で最大の人工知能導入事例であり、公共交通機関が関与することは初めてである。地域全体の居住者の移動時間の短縮が目的であり、同時に全ての人にとって安全、健康的かつ公平なモビリティへと改善しつつ、道路交通事故死者・重傷者を出さないというコロンバス市の「ビジョン・ゼロ」の取組みを支援する。

アメリカ 2021年1月4日 Transport Topics

■ ブティージェッジ次期運輸長官は「大規模で大胆な」インフラ計画に注目していると、会見したシューマー上院院内総務が語る

Pete Buttigieg Eyes 'Big, Bold' Infrastructure Plan, Chuck Schumer Says

シューマー氏は、今後数カ月のうちに大規模で革新的な交通包括法案を作成することに対する強い関心を、ブティージェッジ氏と共有したと述べた。

このインフラ関連の法案は、貨物輸送の主要幹線道路での渋滞緩和、公共交通システムへのアクセス容易化、電気自動車・自動運転車プログラムの拡大を目指すものになる。

アメリカ 2021年1月5日 Government Technology

■ メリーランド州交通省 (MDOT)、トラック交通分析プロジェクトで提携

Maryland DOT Partners on Trucking Analytics Project

テキサス A & M 大学交通研究所による MDOT、INRIX との共同調査では、I-95 号線のワシントン DC とボルチモア間のメリーランドにある休憩施設の使用状況を綿密に確認し、MDOT と協力してトラックの駐車が許可されている区域にジオフェンス (仮想の境界線) を設定した。これによって、安全上の理由で立ち入り禁止とされているランプや路肩など、トラックがいつどこに駐車していたかが示された。

フランス (EU) 2021年1月6日 Fleet Europe

■ 電気自動車の普及で燃料税収入が減った代わりに道路利用料金を導入する動き

Road pricing to replace lost fuel duty for EVs?

燃料税収入は、電気自動車への急速な移行に伴い激減する運命にある。数十億ユーロの税収を失うことは、財政の健全性を維持するうえで深刻な問題である。しかし新型コロナウイルス蔓延の影響で、各国政府や自治体が財政不足に直面しているため、財務当局は減少しつつある自動車関連税収に代わる収入源を見つけるよう迫られている。